

# 「同窓生講演会」を開催しました

【令和6年9月10日】

本校卒業生である丹羽公雄<sup>にわきみお</sup>・名古屋大学名誉教授が9月10日に来校され、在校生に講演をしていただきました。

丹羽先生は本校を1965(昭和40)年3月にご卒業されました(高校17回生)。素粒子<sup>そりゅうし</sup>物理学がご専門で、2000(平成12)年には原子よりも小さなタウニュートリノを検出され、仁科<sup>にしな</sup>記念賞をはじめ数々の賞を受賞されました。現在も御嵩町上之郷地区にお住まいで、この日の講演は「後輩たちに夢をもってがんばってほしい」という丹羽先生からのお申し出により実現しました。

当日は、1年生1名、2年生1名の計2名が参加し、生徒との対話という形で講演は進められました。星の話をきっかけに、多くの話題に及びましたが、「身近な事象に疑問をもつ探究心の大切さ」を終始<sup>と</sup>説かれました。また、高校時代にはラジオづくりに没頭し、アマチュア無線部をつくった思い出も語られました。

講演後、生徒は「活躍しておられる先輩の話を聴くことができよかった。」と話し、傍聴した職員も「様々なことに興味・関心をもたせ、チャレンジする機会をつくりたい。」と述べていました。

※仁科記念賞<sup>にしなよしお</sup>：故仁科芳雄博士の功績を記念して、わが国で原子物理学に優れた研究業績をあげた研究者を表彰するために、1955(昭和30)年に創設された賞。

